

石狩川滝川地区水害タイムライン検討会（第2回）

タイムライン策定に向けて「石狩川滝川地区水害タイムライン検討会（第2回）」を開催しました。検討会では今回新たに追加された参加機関・アドバイザーの紹介の後、参加機関によるワークショップを実施し、タイムライン構築における到達目標と、それに対する行動項目と細目の抽出を行いました。

- 開催日時 平成28年1月21日（木）13:30～17:00
- 実施場所 たきかわ文化センター（滝川市）
- 参加機関 滝川市等35機関

開会の様子

検討会には各関係機関の防災担当者に加えて、アドバイザー、オブザーバー、一般傍聴者など総勢約130名が参加しました。滝川市の中島総務部長より開会の挨拶があり、検討会がスタートしました。また、滝川市 総務部 総務課の尾崎防災危機対策室長による参加機関・オブザーバー・アドバイザーの追加についての説明がありました。



開会挨拶
滝川市 中島 総務部長



参加機関・オブザーバー・アドバイザーの追加について
滝川市 尾崎 防災危機対策室長

参加機関によるワークショップ

■ワークショップの進め方

松尾座長より、今後の検討会や図上訓練等、スケジュールの説明があり、出水期となる7月までに試行版をまとめるとの説明がありました。



松尾 座長の挨拶



ファシリテーターによる説明

■ワークショップの実施

参加機関・オブザーバーの役割に基づき「市民安全行動」、「市民安全支援」、「地域安全対策」、「防災情報・意思決定」、「交通運輸対策」、「防災基盤対策」、「地域沿川」の7つのグループに分かれ、グループ毎に議論を行いました。

各グループでは、想定した水害シナリオに対する「到達目標」を整理するとともに、「到達目標」を達成するための「行動項目」、「行動細目」の抽出・順序などを検討し、ボードに成果を整理しました。最後にそれらの成果を各グループのリーダーが発表しました。



各ワークショップでの議論の様子



グループリーダーによる成果発表

アドバイザーによる講評

検討会のアドバイザーであるNPO法人 環境防災機構 北海道 黒木専務理事と、新たに加わった元旭川地方気象台長の志田気象予報士による検討会全体の講評、松尾座長による総括があり、最後に札幌管区気象台の西潟業務課長の挨拶で閉会となりました。



黒木 専務理事による講評



志田 気象予報士による講評